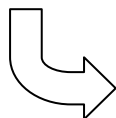


香南市

有限会社 岩城建築設計事務所 MIタウン企画部



(夜須町『千切の家』 S 様邸)

「古さ」+「新しさ」
資材を最小限に抑えた古民家再生。

- キーワード：古民家再生・リフォーム
- 活動時期：毎日
- 主な活動メンバー
古民家再生に感銘をしてくれた
大工・業者とグループを組んで
- ホームページ：<http://iwaki-mitown.com/index.html>

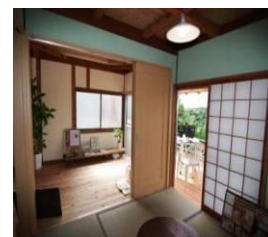
(取り組み内容)

■古民家再生のポイント

- ・古民家を解体して新築するには、大量のゴミと大量の新規材料が必要。
→ 家を壊さず、その骨組み+新しい材料 で、資源を最小限に抑えた再生建築。
- ・焼却ゴミの減少と、材料の加工・輸送量の減少で大きなCO2削減効果を期待できる。
- ・木は切り倒されて長い時間たてば強度が上がる → 古い木には良さがある！



(野市町『古い梁、天窓で蘇る!』 K 様邸)

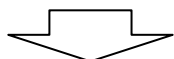


(平成 20 年 手結山 T 様邸)

【参照】 <http://iwaki-mitown.com/index.html>

■新築住宅のポイント

環境と住まいを一体と捕らえ、高知の自然環境を生かした家づくりを研究。そこに地震・台風に強い TIP 構法を取り入れる。



かや葺きの家に着目し、その原理（地熱・太陽熱・発生熱）を活用したローコストのMIハウス『パワフル土佐』を開発！
これに太陽光発電システムを組み入れることにより、これまでの光熱費と同じ費用で、24 時間冷暖房+給湯ができる程の省エネルギーを実現したと自負！

【参照】 <http://www.iwaki-mitown.jp/info/index.html>



■遮熱材の利用



- ・最新の遮熱材→赤外線 99%カット
(気温を下げるには赤外線をカットする必要)
→エアコンを使う回数、温度を抑えられ
冷暖房の光熱費を 63%カット！
- ・遮熱材を使うと熱くなく、逆に冬は、中の熱を逃がさなくなり、部屋の中は暖かい。
- ・遮熱材は劣化せず 100 年たっても不燃材であるため火災の時も燃えない。



遮熱材 (左) と断熱材 (右)

ストーブ (後ろ側に設置) により遮熱材と断熱材とでどれだけの温度差が生まれるのか？



午前 8 時から 10 時までの 2 時間で計測
(遮熱材-34.8°C) (断熱材-55.5°C)
約 20° の変化がある

■成果

- ・ここ一年ですごい反響を頂き (特に古民家再生) 年度内の工事はすべて埋まっている。
結果、ゴミ削減や省エネルギーにも繋がっていると見える。

■取り組みを進めるためのポイント

- ・足下をほれ、そこに泉あり (足もとに輝く物がある)
- ・人の前にろうそくを灯すと、自分の前も明るくなる。
- ・人のため、社会のためにどう行動していくかを考える
→最高の喜び →自分のため！
- ・裏切らない、自分がぶれない



岩城建築設計事務所
代表取締役 片岡さん

■今後の展望

- ・今現在、依頼が多く対応が追い付かないため、いろいろな所と連携を図り地域貢献していきたい。
- ・高知県内のみならず、アジアにも広げていくことを考えている。
→近年、大工の仕事が減り日本文化の損失が見られる。海外にも目を向けることにより、トップレベルと言われる日本の伝統の技を残し、後継ぎを残すといった動きにつなげていきたい。
- ・「わが町・わが村を見直そう」「古きものを見直そう」「自然環境を生かそう」「新たな物を見据えよう」「特技を生かそう」「心を見直そう」を研究課題に挙げてチャレンジ！

■県民の皆さんに一言

- ・大都会に価値を見る時代から変わってきます。高知にはそのまま田舎が残されています。都会のマネじゃなく、高知は高知の良さを見つけたら、きっとすごい高知県が出来ます！

(平成 21 年 10 月現在)